

競馬を財テクの手段に変える 馬券投資の 8 ヶ条



Z-KEIBA

【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。

下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートを、著作権者の許可なく、この商材の全部、又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係 法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う 場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。

著者は事前許可を 得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者は、一切の責任を負わないことをご了承 願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

競馬を財テクの手段に変える馬券投資の8ヶ条

発行元: Z-KEIBA

発行者: SHINSEI

WEBサイト: <http://zkeiba.com>

連絡先メールアドレス: info@zkeiba.com

<発行メールマガジン>

まぐまぐ ID: 0001671441

【財テク競馬】複利×転がし馬券投資法

<http://archives.mag2.com/0001671441/index.html>

レポート著者プロフィール



名 前: SHINSEI

出身地: 大阪府

年 齢: 43歳

学生の頃より統計学を研究し、株式・為替・先物投資をしながら、20代の前半より、趣味の一環として馬券攻略法の研究を開始。現在は「日刊コンピ指数」をメインツールに様々な馬券投資法の研究に勤しむ。趣味は読書・旅行・食べ歩き。競馬ファン歴23年で、投資関連のビジネスを本業にしている四児の父。

馬券投資の8ヶ条

馬券投資を行っていくにあたり、以下の8ヶ条をしっかりと定める必要があります。

- ・ 第1条(情報活用): どの情報ツールを活用するか
- ・ 第2条(投資対象): どのレースを投資対象とするか
- ・ 第3条(予想方法): どのような方法で馬券対象馬を決定するか
- ・ 第4条(馬券種別): どの馬券種別を購入するか
- ・ 第5条(購入方式): どの方式で購入するか
- ・ 第6条(購入点数): 何点購入するか
- ・ 第7条(資金配分): どのような資金配分を施すか
- ・ 第8条(投資手法): どのような投資法で馬券を購入するか

第1条(情報活用)

世の中には様々な競馬情報ツールが存在しますが、どの情報ツールを活用するかで結果は大きく変わってきます。競馬新聞、競馬ソフト、各種指数、予想会社、オッズ分析、データマイニング分析など、様々ある中から、自分の馬券スタイルに合った最適なものを探しましょう。

第2条(投資対象)

全レースに手を出してはプラス収支にするのは困難です。しっかりと対象レースを絞ることで、プラス収支の道は開けます。荒れそうなレースを対象とするのか？それとも堅いレースを対象とするのか？あるいは重賞レースのみを対象とする、など、投資対象を絞り込むことにより、対象としたレースの特徴や傾向などを把握しやすいというメリットがあります。「得意なレースだけに絞り込む！」これがプラス収支を実現させるためのコツです。

第3条(予想方法)

どのようなロジック(手法)を使って馬券対象馬を決定するか？ということも、馬券収支に大きな影響を及ぼします。オッズを基準にするのか？調教を基準にするのか？血統を基準にするのか？コース適性・距離適性を基準にするのか？過去実績を基準にするのか？競馬新聞の印を基準にするのか？など、軸となる予想スタイルを持つ必要があります。

第4条(馬券種別)

単勝・複勝・枠連・馬連・馬単・ワイド・3連複・3連単・WIN5と、全9種類ある中から、どの馬券種で購入するかを決める必要があります。好みの馬券種に統一するか、または、レースによって馬券種を変えるというのも1つの方法ですが、有利な馬券種で購入するという考え方も頭に入れておいて損はありません。(※有利な馬券種については今後の馬券講座で解説します)

第5条(購入方式)

同じ馬券種でも、通常購入、軸流し、BOX、フォーメーションなど複数の買い方がありますが、購入方式の違いによっても収支は変わってきます。いずれも一長一短あり、予想方法・馬券種・購入点数によっても違ってきますので、「これが正解」というものはありませんが、結果を比較しながら収支が最も良い方式(賢い買い方)を自分なりに見つけていく必要があります。

第6条(購入点数)

手広く多点買いをするか、点数を絞り込んだ少点数買いをするか、自分なりのスタイルを確立することが大切です。一般的に考えると、多点買いの場合はその分の的中率の向上は期待できますが、回収率が低下すること場合が多く、逆に少点数買いの場合は回収率の向上は期待できますが、的中率が低下する場合があります。それを踏まえた上で、的中と回収のバランスが取れる購入点数は一体どれくらいなのか?ということシミュレーション等を行いながら検討していく必要があります。

第7条(資金配分)

全ての買い目に対して資金を均等に配分(賭金均等型)するか?、それともオッズに応じて資金配分(配当均等型)するか?によっても収支は変わってきます。これに関しても一長一短あり、どちらが正解というものはありませんが、これも馬券戦略(穴狙いか本命狙いかなど)によっても変わってきます。

第8条(投資手法)

普通に、馬券1点あたりの購入額、1レースあたりの購入額を固定して投資していく方法もありますが、不的中のたびに賭け金を上げていく、通称「追い上げ投資」や、的中払戻金を次のレースに全額賭ける「転がし投資」、資金残高の増大に応じて1レースあたりの賭け金を上げていく「複利投資」など、様々な投資法があり、そのような投資戦略によっても収支は大きく変わってきます。これに関しても、自分の馬券スタイルや資金量に合った最適な方法を見つけていく必要があります。

以上が、馬券投資を行っていくにあたって重要となる8ヶ条です。
ぜひこれを参考に、あなたなりの馬券スタイルを構築していきましょう。

Z-KEIBA 式馬券投資基本ルール 🍀

以下は、当レポート執筆者である、私 SHINSEI が実践している Z-KEIBA 式馬券投資法を「馬券投資の8ヶ条」に当てはめたものです。

- 第1条. 情報活用 : 日刊コンピ指数
- 第2条. 投資対象 : メインレース
- 第3条. 予想方法 : 期待値に応じた馬券の組み立て
- 第4条. 馬券種別 : 枠連／3連複
- 第5条. 購入方式 : ボックス／軸流し
- 第6条. 購入点数 : 枠連 10 点／3連複 28 点以内
- 第7条. 資金配分 : 賭金均等型
- 第8条. 投資手法 : 複利／転がし

上記はあくまでも Z-KEIBA のスタイルですので、全ての方に受け入れられるものではないと思います。あなたが自らの馬券スタイルを構築するにあたり、この中から少しでも何らかのヒントや参考になる部分を見つけてもらえれば幸いです。

第1条:情報活用について

Z-KEIBA 式馬券投資法では、日刊コンピ指数を活用しています。

日刊コンピ指数を活用している主な理由として・・・

1. レース前日に馬券検討ができる
2. データの精度が高い
3. 能力順位が明確
4. 順位が変動しない
5. 低コストで利用できる

以上5つのメリットがあり、とても使い勝手が良いためです。

簡単に1つずつ解説します。

1. レース前日に馬券検討ができる

オッズ分析、馬体重、パドックチェックなどが必要な予想は、レース当日にならないと馬券検討ができません。確かにそれも楽しみ方のひとつですのでいいとは思いますが、土日に他の予定が入り、競馬を観戦することができなくなってしまう場合などは馬券を購入することが難しくなります。日刊コンピ指数はレースの前日に発表されるため、前日のうちに馬券検討を済ませ、買い目も決定することができますので、土日に他の予定が入ってしまったとしても、朝一で馬券を一括購入することができるというメリットがあり、土日のレジャーやお出かけなども楽しめます。

2. データの精度が高い

日刊コンピ指数の能力順位は、JRA が発表する単勝人気順の並びに近くなることが多いため、オッズの代用ツールとしても活用できます。また各能力順の平均 出現率（勝率・連対率・複勝率）も、各単勝人気順の平均出現率と比較しても全く遜色ないほどの安定性があり、データとしてのクオリティーが非常に高く信頼 性があります。その他メジャーな競馬情報ツールとしては、競馬ブック、JRA-VAN NEXT、Target、馬王、JRDB などがあり、これまでに私もそれら全て使ってきましたが、その中でも日刊コンピ指数が最もデータの安定性が高いと 実感しています。データ分析で何よりも重要なのは「安定性」です。その点から見ても日刊コンピ指数は最高の情報ツールだと思います。

＜参考データ＞ 単勝人気順位とコンピ指数順位の出現率データ比較

<http://zkeiba.com/fwd3/repodata1>

3. 能力順位が明確

オッズや他の競馬情報ツールの多くは、順位が同値の馬が出てくるケースがあるため、データとしては若干使いづらい場合がありますが、日刊コンピ指数の場合 は、各馬の能力指数の順位が完全に決められており、同順位の馬は存在しませんので、データ分析の際や買い目を決定する際など、非常に使い勝手が良く、迷い が生じることが全くないというメリットがあります。

4. 順位が変動しない

これは特に単勝人気などオッズ全般に言えることですが、時間の経過と共に人気順がコロコロと入れ替わるようなデータは、最後までずっとモニターしておく必要もあるため非常に扱いにくいです。また、投票締切後に人気順位が入れ替わることもよくあるため、単勝人気などをベースに買い目を組むようなオッズ分析法 はどうしても買い目にズレが生じたりするため不安定になりがちです。その点、日刊コンピ指数の場合 は最初から最後まで順位は変動しないため、オッズのよう に投票締め切りギリギリまで確認する必要もありません。そういう面でも非常に使い勝手が良いのです。

5. 低コストで利用できる

日刊コンピ指数は、極ウマ・プレミアムというサイトで月額 800 円(+消費税)の購読料を支払えば入手することができます。競馬情報ツールとしては安価な ほうですし競馬新聞を買うよりも安く済むので、コストパフォーマンスは最高だと思います。また購読期間中は、過去のコンピ指数も閲覧することができます し、コンピデータベースという検索サービスも使えますので、それらを使って様々なシミュレーションや馬券の検証(バックテスト)ができます。

日刊コンピ指数の詳細はこちら

<http://p.nikkansports.com/goku-uma/>

以上が日刊コンピ指数を活用するメリットです。
ぜひあなたもコンピの素晴らしさをお試ください。

第2条:投資対象について

Z-KEIBA では、投資対象レースの中心をメインレースに絞っています。

その最も大きな理由としてはメインレース(特に重賞レース)は JRA の中で「最も売上が高いレース」だからです。

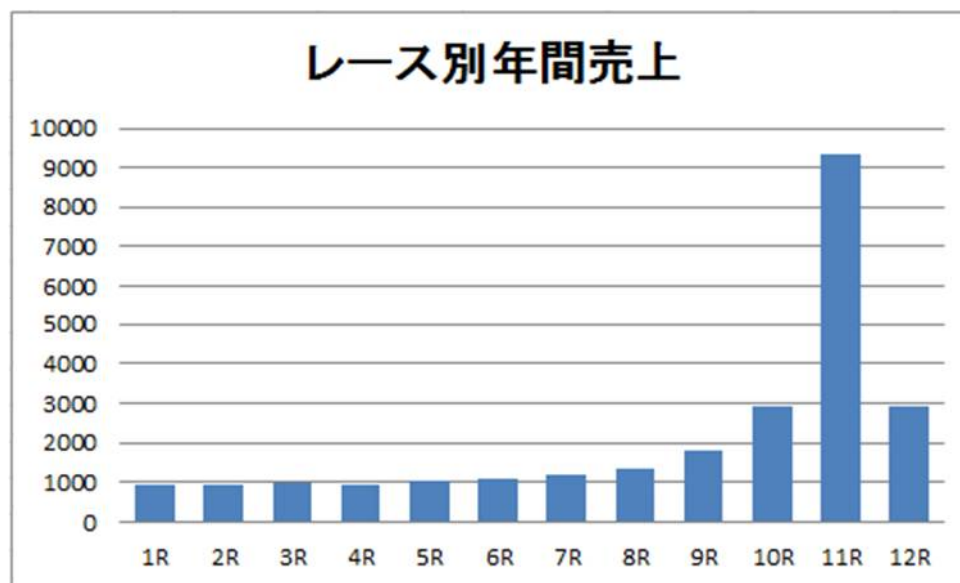
売上が低いレースでは的中してもオッズが下がることも多く、それがそのまま回収率にも影響を及ぼします。

回収率の低下を防ぐ原則の1つは、投資対象を「売上の高いレース」に絞ることです。

売上の高さに比例してオッズの低下は緩やかになりますので、できるだけ売上の高いレースに絞って投資することが回収率的に見ても有利なのです。

以下の表は、2015 年度のレース番号別の年間総投票数と年間総売上です。
(全開催場全レースの集計)

レース No	年間総投票数	年間総売上
1R	960,210,201 票	96,021,020,100 円
2R	941,438,634 票	94,143,863,400 円
3R	992,338,443 票	99,233,844,300 円
4R	937,179,638 票	93,717,963,800 円
5R	1,025,048,267 票	102,504,826,700 円
6R	1,098,061,301 票	109,806,130,100 円
7R	1,225,369,154 票	122,536,915,400 円
8R	1,355,645,063 票	135,564,506,300 円
9R	1,789,315,426 票	178,931,542,600 円
10R	2,932,676,849 票	293,267,684,900 円
11R	9,315,874,547 票	931,587,454,700 円
12R	2,951,194,398 票	295,119,439,800 円
総計	25,524,351,921 票	2,552,435,192,100 円



ご覧のように、全 12 レース開催される中で、売上が最も高いのは、通常メインレースとして設定されている第 11R で、次いで売上が高いのが、準メインレースとして設定されている第 10R と、最終レースの第 12R です。この後半の 3 レースで、全体の売上の大半を占めていますので、投資対象とするなら、これら後半の 3 レースが最適だと思います。

中には、荒れそうなレースだけに絞って投資対象にしている方や、堅そうなレースだけを投資対象にしている方もいると思いますが、そのような場合も、売上の高い後半 3 レースの中からそのような投資対象レースを探していくのがいいでしょう。

第3条:予想方法について

競馬の予想には様々な方法、ファクター(予想材料)が存在していますが、Z-KEIBA 式馬券投資法では、シンプルに「日刊コンピ指数」のみを活用して馬券対象候補を決定しています。

<予想ステップ1:推定出現率の割り出し>

まず、対象レースに出走する1頭1頭の「推定出現率」(複勝率)を割り出すことからスタートしています。(※複勝率とは、3着以内に入着する確率です)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
馬番	10	7	5	6	14	9	4	3	2	12	8	13	1	11
指数	74	67	66	65	56	55	54	52	49	44	43	42	41	40

上記のサンプルは、2016年1月5日に開催された中山競馬メインレース、中山金杯における各出走馬のコンピ指数ですが、ご覧のように、各順位ごとにそれぞれ指数が割り振られています。(※コンピ指数は最高が90で最低が40です)

このレースでのコンピ指数1位は「10番」のフルーキーという競走馬で、指数は「74」となっていますが、以下の参考ページをご覧くださいとわかるように、同じコンピ1位でも、指数は最高90から60台まであり、指数により平均出現率も異なってきます。

- 参考ページ: コンピ1位指数別出現率

<http://zkeiba.com/fwd3/repdata2>

上記参考ページで紹介しているコンピ1位と同様、他のコンピ順位も全て指数によりそれぞれ平均出現率が異なってくるのです。

Z-KEIBA 式馬券投資法では、各コンピ順位とコンピ指数の組合せを、過去のデータベースから分析し、1頭1頭の「推定出現率」(＝過去の結果から導き出した平均出現率)を割り出しています。

※Z-KEIBA のブログで紹介している「重賞コンピ分析」では、重賞レースにおける出走馬1頭1頭の推定出現率を紹介しています。

＜予想ステップ2：馬券対象範囲の決定＞

コンピ何位までが馬券に絡む確率が高いかを推定出現率で確認し、馬券の対象範囲を決めます。

Z-KEIBA 式馬券投資法で設定している馬券対象範囲は後ほど紹介する「推定出現率5%以上」で、5%未満の馬は馬券対象外としています。

＜予想ステップ3：出現期待値の算出＞

各コンピ順位の出現率というのは年単位の長期間を通じて見た場合、ほぼ平均値に収束していきますが、ある一定の期間で集計した場合、出現傾向に片寄りが生じている場合も多く、平均以上に連続して出現していたり、逆に長い期間出現していないこともあります。

このような場合、確率の観点から、直近の期間で平均よりも出現し過ぎているコンピ順位は今後出現率が低下するだろうと考えることができますし、逆に、長い期間出現していないコンピ順位はそろそろ出現するだろうと考えることができるわけです。

たとえば、関東表開催メインレースのコンピ1位の平均複勝率は 56.8%ですが、直近で見た期間の複勝率が 80%くらいだとすると、明らかに出現し過ぎだということが分かりますし、逆に 30%くらいだとすると、明らかに出現しなさ過ぎだということが分かります。

このように、各コンピ順位の直近出現率を開催単位（関東表開催・関西表開催・ローカル開催）とレース番号単位の組合せで集計し、それを「推定出現率」と掛け合わせ、独自の計算式で導き出した数字が「出現期待値」です。

基本的に出現期待値が 100 を超えた馬が出現の期待できる馬ということで、数値が高ければ高いほど、その分期待値が高いということです。

＜参考＞

ちなみに、直近出現率をモニターする期間はコンピ順位によりそれぞれ異なります。

たとえば平均出現率 50%のコンピ順位のモニター期間は「前 18 レース」ですが、平均出現率 30%のコンピ順位のモニター期間は「前 35 レース」で、平均出現率 10%のコンピ順位のモニター期間は「前 116 レース」です。

これは統計的に見て、おおむねこの期間内で平均値に収束するという計算の元設定している期間で、コンピ順位により設定期間はそれぞれ違います。

※Z-KEIBA では、出現率の集計を、関東表開催のメインレース別、関西表開催のメインレース別、ローカル開催のメインレース別に、それぞれ分けて行い、各コンピ順位の出現期待値を出しています。

＜予想ステップ4：馬券対象の決定＞

馬券対象範囲が分かり、各コンピ順位の出現期待値が分かれば、後は馬券対象と買い目を決めるだけです。

Z-KEIBA 式馬券投資法では、3連複と枠連を投資対象馬券にしていますが、3連複の場合は、馬券対象範囲の中から、出現期待値の最も高い馬を軸に、出現期待値上位8頭を相手に3連複1頭軸ながしで購入しています。

また枠連の場合は、各枠番の中に配置されている馬の中で最も出現期待値が高い馬同士を枠番単位で比較し、出現期待値上位5枠を枠連ボックスで購入しています。

以上が、Z-KEIBA 式馬券投資法における予想方法となります。

また細かい部分や深く掘り下げた話につきましては、今後メルマガやブログなどで記事にてご紹介していこうと思います。

第4条：馬券種別について

購入する馬券種に関しては、投資対象レースの選択と同様、基本的に売上の高い馬券種を対象にすることでオッズ低下の影響を受けにくくなります。

以下は 2015 年度の各馬券種における年間総投票数と総売上です。

馬券種	年間投票総数	年間総売上
単 勝	1,422,973,599 票	142,297,359,900 円
複 勝	1,998,746,390 票	199,874,639,000 円
枠 連	942,165,655 票	94,216,565,500 円
馬 連	3,906,532,209 票	390,653,220,900 円
ワイド	1,751,715,694 票	175,171,569,400 円
馬 単	1,961,410,680 票	196,141,068,000 円
3連複	5,080,355,345 票	508,035,534,500 円
3連単	8,460,452,349 票	846,045,234,900 円

これをご覧いただければ分かるように、売上の高い順に、

- 1位：3連単
- 2位：3連複
- 3位：馬 連
- 4位：複 勝
- 5位：馬 単
- 6位：ワイド
- 7位：単 勝
- 8位：枠 連

となっています。

これを見ると、対象馬券は売上の最も高い3連単が最適だと思われるかもしれませんが、馬券には払戻率というものがあり、これも回収率に大きな影響を与えますので、ここも加味して考える必要があります。

JRA が公表している各馬券種ごとの払戻率は以下の通りです。

馬券種	払戻率
単 勝	80.0%
複 勝	80.0%
枠 連	77.5%
馬 連	77.5%
ワイド	77.5%
馬 単	75.0%
3連複	75.0%
3連単	72.5%

これを払戻率の高い順に並べると、

- 1位:単勝・複勝
- 2位:枠連・馬連・ワイド
- 3位:馬単・3連複
- 4位:3連単

これを見ても分かるように、売上の最も高い3連単は払戻率ランキングで見た場合は最下位になっています。

また、この払戻率ランキングだけを見ると、単勝と複勝の払戻率が最も高いので、一見、単勝・複勝が有利と思われるかもしれませんが、大切なのは売上の高さ と払戻率の「バランス」です。

以下は、各馬券種の売上高ランキングと払戻率ランキングを比較したものです。

馬券種	売上高ランク	払戻率ランク
単 勝	7位	1位
複 勝	4位	1位
枠 連	8位	2位
馬 連	3位	2位
ワイド	6位	2位
馬 単	5位	3位
3連複	2位	3位
3連単	1位	4位

これを見ると、売上と払戻率のバランスが良いのは馬連と3連複ですので、対象とする馬券種は、この2つが最適だと思います。

Z-KEIBA 式馬券投資法では、メインレースのみを投資対象としていますが、様々な研究の結果、メインレースの場合で利益を出しやすい馬券は「3連複」が最も適していると判断し、3連複を投資対象馬券種に設定しています。

また意外に思われるかもしれませんが、最も売り上げの低い「枠連」もメインレースでは利益を計上しやすい馬券だという研究結果が出ていますので、Z-KEIBA 式馬券投資法では枠連も投資対象馬券種に設定しています。

第5条:購入方式について

馬券の買い方には、通常購入、軸流し、BOX、フォーメーションなど複数の買い方がありますが、それぞれの買い方には以下のようなメリット・デメリットがあります。

購入方式	メリット	デメリット
通常購入	オッズの低い無駄な買い目などをカットできる	抜けの買い目が多くなり的中率は低くなりがち
軸流し	点数を絞ることができ相手馬候補を広げることができる	縦目を食らうことが多い(軸が馬券に絡まず相手馬だけが馬券に絡むこと)
BOX	本命～大穴までの様々な組合せをカバーできる	馬券対象馬を1頭増やすごとに点数は大幅に増えるため多くの馬を選択できない
フォーメーション	軸流しとBOXの両方のメリットを持つ中間的な買い方	他の購入方式に比べて買い方が最も難しく工夫が必要

これを見れば分かるように、どの買い方にも一長一短あり、全てのメリットをカバーし、全てのデメリットを排除したような万能の買い方などは存在しません。

また、

- ・ 的中率重視か？
- ・ 回収率重視か？
- ・ 本命志向か？
- ・ 穴志向か？
- ・ どの馬券種を買うのか？
- ・ 多点買いか？
- ・ 少数点買いか？

といった馬券スタイルによっても違ってきますので「これが正解」という答えはありません。

ただし、ひとつ言えることは、日頃から意識して「どのような買い方をすれば収支は上向くのか？」というシミュレーションをすることが大切だということです。

- もし自分の馬券スタイルで「軸流し」をした場合、的中率・回収率・収支はどうなるのだろうか？
- もし自分の馬券スタイルで「BOX買い」をした場合、的中率・回収率・収支はどうなるのだろうか？
- もし自分の馬券スタイルで「フォーメーション買い」をした場合、的中率・回収率・収支はどうなるのだろうか？

このように、自分の馬券スタイルに最もマッチした買い方を研究することが、馬券収支を向上させるために必要なことだということです。

当サイトで公開している Z-KEIBA 式馬券投資法においては、過去の結果と様々なシミュレーションから、3連複は1頭軸流し、枠連はボックス買いが、的中率・回収率のバランスが最も良く、収支効率が高かったため、これらの購入方式を採用しています。

第6条:購入点数について

馬券の組合せというのは、以下の表のとおり、たとえば、単勝なら最大18点、3連単なら最大4896点もの組合せが存在します。

馬券種	最大点数(18 頭立て)
単 勝	18 点
複 勝	18 点
枠 連	36 点
馬 連	153 点
ワイド	153 点
馬 単	306 点
3連複	816 点
3連単	4896 点

購入点数については、人によって、どれくらいの点数がベストか？(少ないか多いかという感覚)というのは、馬券スタイルや価値観により、自ずと違ってきます。

買い目を絞り、1点あたりに厚めに資金を投入する少数点買い派の人がいれば、手広く多点買いを好む人もいます。

たとえば、3連単60点買いと聞くと「多すぎる」と感じる人もいれば「もっと買っていいのでは？」と思う人もいます。

よって「購入点数は〇〇点がベスト…」という正解はなく、答えは馬券を購入する競馬ファンの数だけ存在するということです。

ただ、ある程度目安となる購入点数はあると思います。

言わずもがな最少点数は1点買いですが、たとえば単勝(複勝)1点買いを基準に、それを他の馬券種の組合せ数に換算して考えた場合…

馬券種	購入点数(18頭立ての場合)
単 勝	1 点(※基準)
単 勝	1 点(※基準)
枠 連	2 点(36 点÷18 点)
馬 連	8 点(153 点÷18 点)
ワイド	8 点(153 点÷18 点)
馬 単	17 点(306 点÷18 点)
3連複	45 点(816 点÷18 点)
3連単	272 点(4896 点÷18 点)

これを見ると分かるように、単勝(複勝)1点買いというのは、たとえば3連単で見た場合、確率的には272点買いと同じということになるのです。

単勝(複勝)1点 = 3連単272点

これを考えると、先ほどのような「3連単60点買いは多すぎる」という意見は、少し違うような気がしてくるのではないのでしょうか？

もちろん、これは単純に(総点数÷18)という計算式で求めた数字で、あくまでも「理論上の確率」でしかありませんので単純比較はできませんが、特に3連馬券の場合、これを見ると、世間一般的に競馬ファンがイメージしている適正購入点数というのは少なすぎると思います。

「3連単はなかなか当たらない・・・」という声もよく聞きますが、単純に購入点数が少なすぎるため、的中しないのは当然のことなのです。

もちろん、過剰な多点買いも褒められたものではありませんが、点数が少なすぎるのもどうかと思うのです。

要は「バランス」が大切だと思うのですが、次に、そのための「適正点数」になるヒントとなる数字をご紹介します。

馬券種	平均配当
単 勝	1,035 円
複 勝	353 円
枠 連	2,151 円
馬 連	5,918 円
ワイド	2,082 円
馬 単	11,584 円
3連複	24,686 円
3連単	154,873 円

上記は、2015 年度に開催された全レースの馬券種別平均配当ですが、単純にこれだけを見れば、極端な話、馬連の場合は59点、3連複の場合は246点、3連単の場合は1548点まで買っても大丈夫ということになります。

もちろんこれは、ほとんどのレースを的中させる前提の話ですので、当然それだけの点数を買ってはいけません。少なくともこれを見れば、MAX(上限)の購入点数が分かるはずです。

すなわち、

- 単 勝を買うなら「10点」以上買ってはいけない。
- 複 勝を買うなら「3点」以上買ってはいけない。
- 枠 連を買うなら「21点」以上買ってはいけない。
- 馬 連を買うなら「59点」以上買ってはいけない。
- ワイドを買うなら「20点」以上買ってはいけない。
- 馬 単を買うなら「115点」以上買ってはいけない。
- 3連複を買うなら「246点」以上買ってはいけない。
- 3連単を買うなら「1548点」以上買ってはいけない。

ということです。

あとは、この数字を目安に、自分の馬券スタイルにおける目標的中率などを考慮しながら、最適な購入点数を決めていけばいいと思います。

当サイトで公開している、Z-KEIBA 式馬券投資法の場合は、3連複なら最低30%、枠連なら最低50%の的中率が欲しいため、その的中率を実現できる購入点数を、過去の結果とシミュレーションを元に、3連複は28点、枠連を10点に設定しています。

もちろん人によって馬券スタイルはそれぞれですから、的中率は低くても構わないのであれば、もっと点数を減らせばいいと思いますし、逆にもっと的中率を上げたければ点数を増やせばいいわけです。(もちろん、先ほど紹介したMAXの購入点数内で)

ただし、最も重要なのは的中率よりも「回収率」ですので、購入点数の増減は、的中率と回収率のバランスを考えながら慎重に行っていくことが大切です。

これも日々の研究とシミュレーションの繰り返しで見えてくるものですので、過去の結果と照らし合わせて研究とシミュレーションを繰り返し、ぜひ自分なりの馬券スタイルを確立してください。

第7条:資金配分について

資金配分の方法には、全ての買い目に対して資金を均等に配分する「賭金均等型」と、買い目(オッズ)に応じて資金配分する「配当均等型」があります。

これらのメリット・デメリットは以下のとおりです。

<賭金均等型のメリット>

面倒な計算が不要。高めのオッズが的中すれば高額払戻金を手にすることができる。

<賭金均等型のデメリット>

的中した馬券のオッズが低ければ取損(マイナス)になる場合がある。

<配当均等型のメリット>

どの買い目が的中しても同程度の払戻金を手にすることができ取損になることが少ない。

<配当均等型のデメリット>

買い目(オッズ)に応じた賭け金の計算が必要。

このように、いずれも一長一短あり、どちらが正解という答えはありませんが、当サイトで公開している、Z-KEIBA 式馬券投資法の場合は、全て「賭金均等型」にしています。

これも過去の結果やシミュレーションから「配当均等型」よりも「賭金均等型」のほうが収支効率が良かったためです。

また、Z-KEIBA 式馬券投資法の場合は、前日に買い目を出し、朝一で馬券を一括購入する馬券スタイルであるため、オッズの確認が必要な「配当均等型」は不向きだという理由からも「賭金均等型」のほうがベターなのです。

第8条:投資手法について

Z-KEIBA 式馬券投資法は「複利投資」と「転がし投資」の2種類を組み合わせた投資法です。

複利投資とは、資金残高に応じて1レースあたりの賭け金を上げていく方法で、転がし投資とは、馬券が的中した際、的中払戻金をそのまま次のレースに全額投入する方法です。

Z-KEIBA 式馬券投資法では、

- 複 利・・・元金が2倍になった時点で1レースあたりの賭け金も2倍に上げる。その後同じように元金の増加に伴い3倍、4倍、と上げていく。
- 転がし・・・転がしチャレンジは成功しても失敗しても1回で終了。関東メイン・関西メイン・ローカルメインに分け、それぞれの開催場で1日単位で個別に行っていく。

このようなルールを設け、枠連と3連複で投資していますが、「複利×転がし」は枠連だけで、3連複のほうは的中率が高くない為、転がしは採用せず、複利のみを採用しています。

なお「追い上げ投資」(不的中の度に賭け金を増額していく投資法)に関しては破たんのリスクが極めて高いため、Z-KEIBA では追い上げ投資の採用をしていないのはもちろんのこと、推奨もしておりません。

馬券対象5%ルール

Z-KEIBA 式馬券投資法における馬券対象馬は、推定出現率5%以上に設定しています。

なぜ5%のラインで線引きしているのかというと、5%未満の馬というのは、出現の安定性が著しく悪くなり、コンスタントな出現が期待できないためです。

出現率5%未満の馬というのは、ほとんどの場合超人氣薄ですので、その馬が馬券に絡むと、かなりの高配当になることも少なくないので確かに魅力的ですが、いつ出現するか分からない超人氣薄の馬を常に馬券対象に据えていると費用対効果が低下し、収支も悪くなり非効率です。

常に超人氣薄の馬を追いかけて、大穴馬券を狙っていけば儲かるのではないかと考えている競馬ファンも多いかと思いますが、そのような継続した大穴狙いのスタイルというのは、ほとんどのケースで、トータル的に見た場合の回収率は100%を下回るのです。

有名な株の格言に「頭と尻尾はくれてやれ」という言葉がありますが、これを競馬に置き換えると、

頭……超人氣馬

尻尾……超人氣薄馬

ということで、超人氣馬や、超人氣薄馬は他の競馬ファンにくれてやるべきで、追いかける必要はないということです。

以上のような理由から Z-KEIBA 式馬券投資法においては、推定出現率5%未満の馬を超人氣薄馬と捉え、これらの馬を馬券対象外としているわけです。

※推定出現率は、コンピ順位とコンピ指数の組合せを、過去のデータベースから分析し、レースごとに1頭1頭割り出しています。

以上、競馬を財テクの手段に変える馬券投資の8ヶ条と、その例題として、私が実践している Z-KEIBA 式馬券投資法に当てはめてご紹介させていただきました。

今後、メルマガやブログでも馬券投資に役立つ様々な情報を配信していきますので、よろしければ、ぜひメールマガジンの読者登録をお願い致します。

最後までお読みいただきまして誠にありがとうございました。

Z-KEIBA 管理人: SHINSEI

◆ Z-KEIBA 公式メールマガジンのご案内 ◆

全重賞レースのコンピ指数分析を、まぐまぐ！から発行しているメールマガジンにて配信中です。読者登録は無料。いつでも解除できますので、お気軽にご登録ください。
(※PCメール・携帯メールのどちらからでもご登録いただけます)

<メルマガの主な配信情報>

- ・重賞レース各コンピ順位の推定出現率
- ・重賞レース各コンピ順位の出現期待値
- ・馬券対象範囲
- ・3連複&枠連の買い目
- ・コラム更新情報

※ブログでは結果のみを掲載しています。

※メルマガは重賞レース開催の前日に配信いたします。

まぐまぐ ID:0001671441

メルマガ名:【財テク競馬】複利×転がし馬券投資法

メールマガジンの詳細・読者登録はこちらから

<http://archives.mag2.com/0001671441/index.html>

競馬を財テクの手段に変える馬券投資の8ヶ条

発行元:Z-KEIBA

発行者:SHINSEI

WEBサイト: <http://zkeiba.com>

連絡先メールアドレス: info@zkeiba.com

